令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

豊かな心の育成と人権教育の推進
足立区立花保中学校 校長 村田 雅也

1 学校教育目標

自ら学び向上し合う生徒
心豊かで協力し合う生徒
健やかでたくましい生徒

2 現状の学校図書館の課題

- ①授業で活用する時間の確保が難しい。
- ②図書館に行かない、本を借りたことがない生徒が多い。

3 今年度の学校図書館の重点目標

- ①学校図書館を「読書センター」「学習・情報センター」として利活用するよう、推進を図る。
- ②「全校ビブリオバトル」という学校全体の取り組みを通し、生徒が読書に興味をもてるよう支援する。

4 今年度の重点的な取組

- ①学校図書館で学習が円滑に出来るよう、環境を工夫する。
- ②読書時間を確保し、できるだけ図書館の本を読むよう様々なアプローチをする。
- ③生徒が行きやすい、居やすい場所となるように工夫する。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	①根拠を示して説明しよう ②メディアの特徴を生かして情報を集めよう ③情報を読み取って文章を書こう
社会	①中世の日本と世界 ②日本の近代化 ③私たちと国際社会
音楽	①②③歌い継ごう日本の歌 ①②③日本の郷土芸能
理科	①大地の変化 ②天気とその変化 ③地球と宇宙
保健体育	①②③健康な生活と疾病の予防 ①心身の機能の発達と心の健康

実践の評価

・図書館を使った調べ学習を各教科からの呼びかけに応じて、個々に実践することが出来た。

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

①読書時間の確保（昼休み、放課後）

(2) 主な行事等の取り組み

全校ビブリオバトル、読書週間

(3) 図書委員会などの取り組み

図書新聞の発行、図書イベントの企画、POP作成

(4) 環境整備の取り組み

閉架書庫を活用し随時利用しやすい書架整備に努める。

(5) 司書・外部との連携

- ①学習に必要な本を迅速に取り寄せる。
- ②特に授業への対応は円滑にできるよう、時間や資料の準備をより充実させる。
- ③公共図書館と常時連携できるよう、事務手続きを確認する。

実践の評価

昼休みや放課後に読書が好きな生徒の居場所となっていた。図書委員会では活発な意見を出し合い、図書新聞やイベントを実施した。全校ビブリオバトルでは、図書室内に歴代チャンプ本を揃え、本年度のチャンプ本を学級に置いたことにより、読書推進に貢献した。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	探求的な学習を ICT と本、新聞など、複数の情報を活用して展開させる。	ICT と図書館を併用した調べ学習を実施した回数：年2回	達成できた。
②	読書タイムを確保し、生徒一人が年間5冊以上の本を読むようにさせる。	生徒の年間平均貸出冊数：10冊	生徒の年間平均貸出冊数は3冊であった。
③	年間の学習指導に合わせ、図書館を活用した学習を展開する。	授業で図書や資料を活用した教員の割合：50%	達成できた。

8 学校図書館全体に関する自己評価

- ・校外学習の事前学習を各学年が図書の資料を用いて、行うことができた。
- ・校外学習に際し、図書館資料を用いて調べたことをまとめ、文化祭で資料を提示したり、壇上で発表したりすることができた。
- ・学習発表会では、自分の興味があるものについて調べ、発表することができた。
- ・図書室の来室者を増やす目的で、図書委員が積極的にイベントや図書新聞作りに取り組んだ。